

SKY コーナー

「2020年度 安全推進大会& SKYフォーラム」開催

「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ!

情報通信エンジニアリング協会 九州支部

1. はじめに

2021年2月9日(火)、NTT西日本九州カンパニーと一般社団法人情報通信エンジニアリング協会九州支

部との共催により「2020年度 安全推進大会&SKYフォーラム」が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、これまでの

集合による開催からリモート開催方式とし、当日はLIVE配信にて、その後10日間は大会動画をWEB配信し、参加各社の事務所や自宅からも視聴できる仕組みを構築しました。

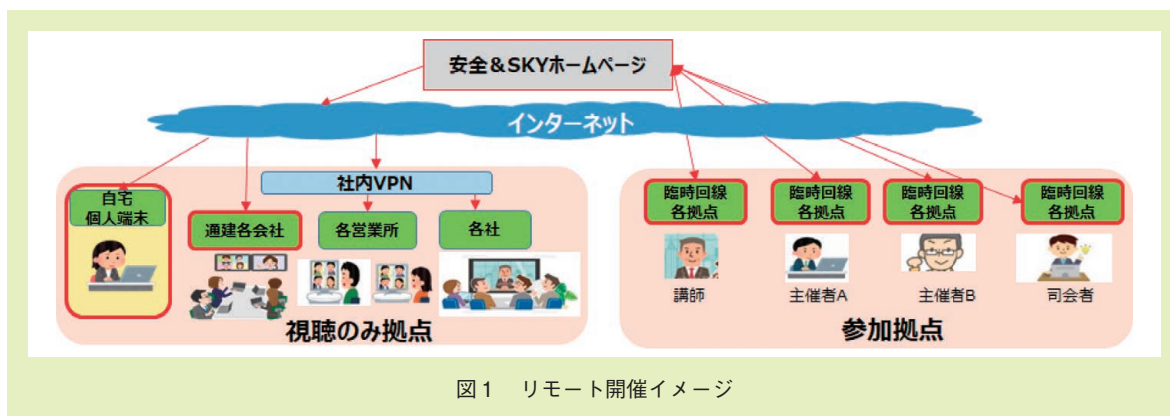


図1 リモート開催イメージ

1. 開催日時：2021年2月9日(火) 13:30~16:00

※多くの方に参加・視聴頂くために、大会動画を一定期間配信 配信期間：2021年2月9日(火)~2月19日(金)

2. 参加者：NTT西日本九州カンパニー 及び 通信建設会社等

時間	項目	実施概要
13:30 ~ 14:00	開会式	・オリエンテーション ・NTT西日本 九州事業本部 小澤事業本部長 ご挨拶 ・情報通信エンジニアリング協会 熊本九州支部長 ご挨拶
14:00 ~ 15:00	安全講話	株式会社 社会安全研究所 技術顧問 立教大学名誉教授 芳賀 繁 (ヒューマンエラー対策の第一人者)
15:00 ~ 15:50	事故再現	今年度九州で発生した事故、及び全ての職場で起こりうる類似事例の再現動画を通過して、社員一人ひとりが事故を自分事として考え、日々実行する契機とする。 ①水路転落事故の再現 ②バケット車自走の再現
	安全意識の 数珠つなぎ	意識高く安全作業に従事している方々の日々の作業模様、安全に対する考え方、また、安全への意識を高める環境づくりや事故を未然に防ぐための取り組み等について共有し、気づきを得ることで安全意識を高める。
15:50 ~ 16:00	閉会式	◆代表者による「安全唱和」 ※閉会式のバックグラウンドで各社からの安全宣言を放映

図2 大会プログラム

2. あいさつ

冒頭、NTT西日本カンパニー小澤事業本部長（写真1）より、「台風や豪雨等の自然災害復旧活動に皆様協力していただきありがとうございます。球磨川エリアの仮復旧の現場で努力されている姿を見て、胸にくるものがありました。ギガスクール・リモートワーク・光サービスのデマンド等にも、尽力していただいております。光回線は、1年で10万回線を突破し、6年ぶりの2桁万回線となり、純利益増になりました。皆様の取り組み結果の成果と感じています。

安全については、今年度事故が15件と多発しております。事故件数が2桁は、2015年以来。人身事故が多く、原因は基本動作の不徹底・近道行動が多いです。安全に対して危機的な状況に直面しています。事故の再現映像を見て安全について安全意識・基本動作を再度見直してください。」とのごあいさつがありました。



写真1 小澤事業本部長 あいさつ

引き続き、情報通信エンジニアリング協会九州支部熊本支部長（写真2）より、「九州エリアにおいては人身事故が多発しており、手抜きや近道行動等やってはいけないことをやっている。安全に作業ができるにもかかわらず事故が起きている。起きた事故は一部とっており、ヒヤリハットの数は事故の10倍、気付かない件数はかなり多いと思う。改めて作業環境等を見直してほしい。事業を継続する一番の基盤は安全。起きた事故については、原因や要素を洗い出し同様の事故や類似事故を起こさないようにしてほしい。わが身に置き換えて想像し、これからも事故防止に取り組んでほしい。」とのごあいさつがありました。

3. 講演

一昨年にもご講演いただき、分かりやすくなるためになると好評であった、ヒューマンエラー対策の第一人者である株式会社社会安全研究所の立教大学名誉教授の芳賀 繁先生に、『ヒューマンエラーのメカニズムと

安全マネジメント』と題して、うっかりミス等の発生メカニズムや防止対策についてご講演をいただきました（写真3）。

4. 事故再現

今年度九州エリアで発生した事故について、事故を再現するとともに、原因および対策映像等をもとに、再発防止を呼び掛けるとともに、同様の事故は、身近な職場や作業等でも起こりうる事例について紹介し、社員1人ひとりが、事故を自分事として考え行動することの必要性を確認しました。

【水路転落事故再現】

故障修理に伴う不良心線探索修理作業中に、雨で地面が濡れた藪の中で屋外線を仮架渉する際、誤って足を滑らせて深さ1.6mの水路に転落した事故（写真4）について、その再現映像により、濡れた足元での作業の危険性と、原因および現場KY（写真5）の実施と2WAYセンターへの連絡（写真6）等の正しい作業



写真2 熊本支部長 あいさつ

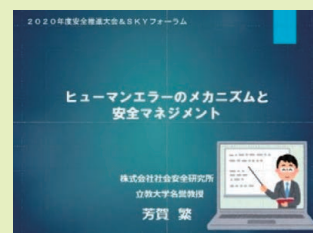


写真3 芳賀 繁先生 ご講演



写真4 水路転落事故

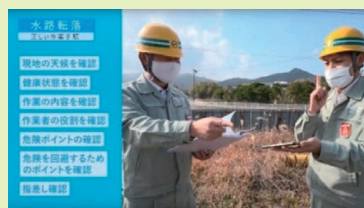


写真5 現場KYの実施

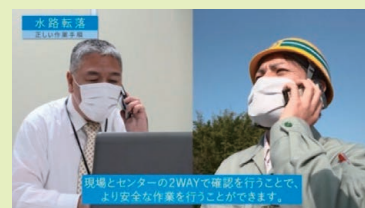


写真6 2WAYセンターへの連絡

手順を紹介しました。

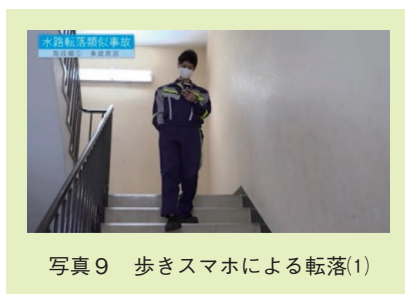
【水路転落類似事故の再現映像（梯子編）】

墜落防止用の安全器の実施等、決められた正しい作業手順により自分自身を守ることを確認しました（写真7・8）。



【水路転落類似事故の再現映像（階段・廊下編）】

ポケットに手を入れ、歩きスマホによる階段からの転落（写真9・10）、濡れた傘の持ち込みにより濡れた廊下で滑っての転倒（写真11・12）等、日頃の行動や身近な場所でも起こりうる事故について、スマホ歩きの厳禁、傘立ての利用等正しい作業手順（写真13・14）を確認しました。



【高所作業車自走事故再現】

移架工程の手直し作業中の現場へ別班（被災者の班）が立ち寄り、高所作業車を駐車した際、車両が動き出し、作業中の高所作業車と被災者が乗ってきた高所作業車の間に挟まれ負傷した事故の再現映像（写真15）およびサイドブレーキの引き具合や輪止めの設置・未設置の場合（写真16・17）の検証結果より、確実なサイドブレーキや輪止め等、基本動作の徹底および法令順守（写真18）による自走防止の重要性を確認しました。



高所作業車自走



写真18 基本動作および法令の遵守による検証

【一般車両による自走】

車両による自走事故は、高所作業車だけではなく、一般車両でも同様の事象が発生することを紹介し（写真19）、安全を守るため、また法令遵守の観点からも、ギアは「パーキング（P）」へ、サイドブレーキは最上部まで確実に引くことを確認しました。

高所作業車自走



写真19 一般車両による検証

5. 数珠つなぎ

安全の意識の高い方の話を聞いて、それを見習って安全意識の上があった人たちを見て、他の人たちの安全意識も高めていく。そんな安全意識の高さが数珠つなぎで広がっていくことを目指して、「安全意識の数珠つなぎ」の映像を視聴しました。常に高い安全意識を持って業務に携わる方々の安全への取り組み方や日頃より心掛けていること、後輩への安全指導方法、また、安全への意識を高める環境づくりや施工班とのコミュニケーションの持ち方、事故を未然に防ぐための取り組み等について紹介し、安全意識の高揚を図りました。

【株式会社NTTフィールドテクノ九州支店 熊本営業所 熊本フィールドサービスセンター】

写真20 永田直也さん
他3名のみなさんにお聞きしました。

- 特に安全を意識することは？
作業で最も危険なのは高所作業になるので、危険な行動を起こさないよう日々意識して作業している。
- 心がけていることは？
基本動作・基本ルールを遵守して、焦る気持ちから近道行動など事故につながるようなことがないように心がけて作業を行っている。
- KYで気をつけていることは？
最初に現場を見て、危険ポイントを想定してからKYを実施するが、作業中でも危険なポイントを見落としていたことに気づくときがあるので、いったん手を止めて、作業者の意識を合わせて作業を行っている。
- 後輩への安全指導は？
いろいろな作業を実践させて、知識を身につけさせて、さまざまな現場で対応できるように指導を行っている。
- これからの安全への取り組みは？
基本に立ち返って、基本を徹底的に守ることで、安全を守ってもらえればと思う。
- 後輩の評価
日々、安全に対する当たり前のことを当たり前に行うことが安全意識の高さと思う。

【株式会社SYSKEN】

写真21 熊本安全品質管理部
青山和真課長
他5名のみなさんにお聞きしました。

- 安全への意識を高める環境の構築
他社の事故事例をもとに、「他山の石会議」を開催し、安全の意識を高めている。また、指差し呼称の優良班の表彰制度を創設して活性化を図っている。
- 施工班とのコミュニケーションを大切に
施工班を層別化し、優良班を増やしていくことで、元請と施工班のコミュニケーションが取りやすい風通しのよい関係を構築している。
- ヒヤリハット情報を吸い上げて「安全装備品」、「機工具の改良」を検討
協力会社を含めて年間600件を超える投稿があり、安全な脚立やセーフティフォルダー等を導入している。
- 現場にあるリスクをいかに摘み取るか
危険源を除去するといった目線を、作業班長、作業員、現場代理人、全員が持って事故撲滅につながっている。
- 事故は未然に防ぐ
リスクアセスメント重視の安全パトロールを実施し、危険源を事前に把握・特定したうえで、施工班に安全指導を行い事故防止に努めている。

○ 「これを使えば安全を守れる」
という開発品を

現場の意見や感想を反映して、次の改良につなげていくなど、現場と密接な関係を保っていく。

使い勝手が良く、浸透する開発を心掛けて作っていく。

6. 閉会

NTT九州カンパニー代表の三浦社員と、情報通信エンジニアリング協会九州支部の代表、西部電気工業の内田社員の二人のリードにより、統一スローガンを唱和し大会を終了しました（写真22）。



写真22 統一スローガンの安全唱和

NTT西日本九州カンパニーおよび情報通信エンジニアリング協会九州支部各社の安全宣言

リモートでの開催をしめくくり、エンドロール前には、NTT九州カンパニーおよび情報通信エンジニアリング協会九州支部の各社の代表による力強い安全宣言が行われました。

■株式会社NTT西日本 九州事業本部

今後とも九州一丸となって安全第一で取り組みます。不安全行動は許さない。九州の仲間から事故

は起こさせないぞ！

■アセットプランニング 企画総務部

皆さんの安全を守るためメンバーで気持ちを1つにして取り組んでいきます！

■NTTインフラネット株式会社

仲間の安全、健康に気づき声掛けのできる明るい風通しの良い職場を作ります。また自分を守る仲間の命を守るため、社員1人ひとりの危険への感受性と安全の意識を高め、さらに協力会社との信頼関係を構築し、一緒に働いている全社員の人身・交通・設備事故ゼロを目指していきます！

■株式会社 協和エクシオ 九州支店

指差し呼称・2WAYの基本動作を徹底し、事故ゼロを継続します！

■株式会社 SYSKEN

初心にかえり、基本動作を徹底し、危ないぞと言える勇気と聞く心を持って事故ゼロを達成します！

■西部気工業株式会社

1つひとつの作業を慌てず確認しながら行い、作業手順を守り人身事故ゼロ、誤切断・誤接続を絶対に起こさないように作業をしていきます！

■テルウェル西日本株式会社 九州支店

労働災害ゼロに向けて、全員参加の安全品質活動に取り組みます！

■NTT西日本ビジネスフロント株式会社

安全最優先で行動し、事故ゼロを続けていきます！

■日本コムシス株式会社 九州支店

家族と皆のために、仲間とともに頑張るぞ！

■株式会社NTTネオメイト

1人ひとりが基本動作を徹底し、作業事故・人為事故ゼロを目指します！

■株式会社NTTビジネスアソシエ西日本

今年も安全第一で取り組みます！

■NTTビジネスソリューションズ株式会社

安全は事業運営の重要な柱の1つです。これからもカンパニーの指導のもと事故ゼロに向け頑張るぞ！

■NTTファイナンス株式会社 九州総合料金センター

日々、安全に対する意識を持ち続け、これからもセンターから不幸な事故を絶対に起こさないことを宣言します！

■株式会社NTTファシリティーズ九州支店

現場のリスクやハザードを確実に洗い出し、対策を立て行動し、より安全な現場づくりを目指してゼロ災職場とします！

■株式会社NTTフィールドテクノ

過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません！

■株式会社NTTマーケティングアクト

基本動作を徹底し、飲酒運転ゼロ、交通・通勤・作業事故ゼロに向け取り組みます！